



大垣市政・経済記者クラブ 同時配布資料  
岐阜県政記者クラブ加盟社 各位

令和6年5月16日(木)		岐阜県発表資料	
所属	担当係	担当者	電話番号
岐阜関ヶ原古戦場記念館	企画課企画連携係	小竹・水野	直通 0584-47-6070 FAX 0584-43-0420

## 関ヶ原研究会情報発信事業 講演会「石田三成はなぜ関ヶ原へ向かったのか」の開催

岐阜関ヶ原古戦場記念館（以下「記念館」という。）では、令和5年10月に発足した関ヶ原研究会の情報発信事業として「天下分け目の関ヶ原合戦はなかった」などで関ヶ原合戦に関する新説を展開している高橋陽介たかはしやうすけ氏の講演会を下記のとおり開催します。

### 記

- 1 日 時 令和6年6月16日(日) 13時30分～15時(開場13時)
- 2 演 題 「石田三成はなぜ関ヶ原へ向かったのか」
- 3 講 師 高橋 陽介(歴史研究家)
- 4 内 容 大柿(大垣)で東軍と対峙していた石田三成ら西軍は、9月14日の夜、突如として関ヶ原への陣替えを行いました。従来いわれているように三成は関ヶ原で東軍を迎え撃とうとしたのか、それとも別の理由があったのか。近年多くの研究者に支持されつつある新説、またそれに対する批判について、分かりやすく解説します。
- 5 会 場 記念館3階セミナールーム(岐阜県不破郡関ヶ原町関ヶ原894-55)
- 6 定 員 100名 ※応募多数の場合は先着順
- 7 参加費用 無料(別途、記念館への入館料が必要となります。)
- 8 申込方法 次の期間内に応募フォームまたは往復ハガキにてお申し込みください。
  - (1) 期 間 5月16日(木)～6月14日(金)  
※往復ハガキは6月11日(火)必着
  - (2) 応募フォーム <https://sekigahara.pref.gifu.lg.jp/news/p6129/>(記念館公式HP)
  - (3) 往復ハガキ 〒503-1501 岐阜県不破郡関ヶ原町関ヶ原894-55  
岐阜関ヶ原古戦場記念館 企画連携係「高橋陽介氏講演会」担当者宛  
※住所、氏名(ふりがな)、電話番号、申込人数を明記してください。  
※往復ハガキ1枚につき、2名まで応募できます。  
申込人数が2人の場合は、2人目の氏名を明記してください。

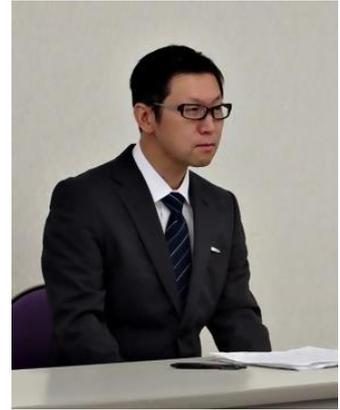
## 高橋 陽介（歴史研究家）

### （経歴）

1969年静岡県生まれ。東海古城研究会、佐賀戦国研究会、織豊期研究会、静岡県地域史研究会、関ヶ原研究会に所属

### （著書）

『一次史料にみる関ヶ原の戦い（改訂版）』（ブイツーソリューション）、『天下分け目の関ヶ原合戦はなかった』（河出書房新社、ないしまさひこ乃至政彦氏と共著）、『秀吉は「家康政権」を遺言していた』（河出書房新社）、『慶長四年の豊臣政権と島津領国における内乱』（ブイツーソリューション）、『関ヶ原合戦の経緯』（ブイツーソリューション）など



### 【関ヶ原研究会の概要】

- 目的 関ヶ原に関連する研究状況の発信、若手研究者の支援等を通じて関ヶ原研究を促進し、調査研究フィールドや観光地としての関ヶ原古戦場の魅力や関心を高める
- 設立日 令和5年10月14日
- 会長 小和田哲男 岐阜関ヶ原古戦場記念館館長
- 会員 関ヶ原に関連する研究実績のある者（大学教授、歴史研究家、博物館学芸員等）
- 内容 関ヶ原研究の活性化に向けた各種取組みを実施
  - ①関ヶ原関連研究に関する情報発信  
関ヶ原関連の最新研究状況・成果等を広く発信する講演会、討論会の実施
  - ②若手研究者の育成支援  
関ヶ原研究若手研究者支援事業や若手研究者への研究発表機会の提供等の実施
  - ③学芸員ネットワークの形成  
関ヶ原の戦いに関連する博物館等の学芸員における研究状況や展示、収蔵品等に関する情報交換の実施
  - ④関ヶ原研究への興味・関心の向上に向けた活動